

第2 1回相模原市スポーツ少年団ドッジボール大会 注意事項

ドッジボール大会では通常の注意事項のほかにコロナ感染予防対策を実施します。

各種注意事項の厳守をお願いします。

以下の注意事項は、選手、スタッフ、保護者等の区別なく大会会場に入る方全員に適用します。

感染予防は、大会運営者、参加者の皆様の双方の協力のもとで対処・実行致しますが、感染リスクがゼロではないことに同意頂き、感染予防対策にご協力を頂けるとの条件付きで、大会へ参加頂くこととなります。

具体的には、

感染予防対策については、公益財団法人日本スポーツ協会・スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドラインについて（▶スポーツイベント再開に向けた感染拡大予防ガイドライン：<https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline.pdf>、▶スポーツイベント開催・実施時の感染防止策チェックリスト：https://www.japan-sports.or.jp/Portals/0/jspo/guideline_checklist.pdf）に記載されている事項、

相模原市役所・スポーツ施設の利用再開について（2 利用上の遵守事項：<https://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/kurashi/kyouiku/sports/1020215.html>）に記載されている事項に準拠して対応するとともに、チーム代表者から相模原市ドッジボール協会への大会参加名簿の提出をもって、名簿に記載されている方全員が感染予防対策への協力、感染リスクがゼロではないことへの承諾、すべて自己の管理と責任において大会に参加することとし、万一感染した場合でも大会主催者、運営者への瑕疵責任は一切問わないことに同意頂いたこととします。

感染予防対策に懸念やご不満がある方は、大会への参加を見送ってください。

【大会開催における感染対策骨子】

- ・会場内へ感染している可能性のある方を入場させない
 - ⇒会場入場者は全員事前登録制とし、かつ全員 10 日間前からの健康観察で発熱、体調管理で異常がない者に限定する。（詳細は、第2 1回相模原市スポーツ少年団ドッジボール大会 健康観察票に記載）
- ・会場内の感染リスクを可能な限り抑える
 - ⇒トーナメント敗退チームの試合会場からの早期撤収による会場入場人員の削減、密や接触を回避するため、一部試合ルールを変更、徹底的な消毒作業実施、会場内での密を回避するため試合観戦・待機場所などを特別に指定、試合中の選手以外の原則マスク着用を義務付け、大会会場の入退出管理徹底、大会参加チームへの具体的な感染対策要請
- ・感染発生時フォロー対策
 - ⇒大会終了後 2 週間の大会参加者の感染確認時の接触疑い者情報管理・保健所への情報提供

○大会前の健康観察

・大会会場へ入場できる人

大会会場の入場は以下の人のみ入場できます。

- 1) 各チーム登録選手
- 2) 各チームスタッフ
- 3) 登録選手の保護者
- 4) 登録選手の小学生以下の兄弟姉妹

※OG・OBの入場はできません。

高齢者、疾患等持病をお持ちの方、マスク着用できない乳幼児の参加は控えてください。

・名簿の提出

各チームで、当日参加予定（大会会場に入場する方）の全員を名簿に記入し、事前に相模原市ドッジボール協会へ提出してください。

名簿に記載されていない人の大会会場への入場はできません。

名簿の参加名簿 No.は、当日大会会場入場時の本人確認時に利用します。

チーム代表者は、名簿に記入された全員への参加名簿 No.の番号付与を徹底してください。

名簿フォーマット、提出方法、提出期限などは別途指示します。

・健康観察票作成、提出

大会参加者は、10日間前から指定する健康観察票に体温等を記載してください。

記入漏れ等がある場合は、当日の大会会場への入場はできません。

連続して4日以上、体温が37.5℃以上の発熱があった場合は大会会場への入場はできません。

また、学校、会社などの基準により、自宅待機を行なったすべての方は大会会場への入場はできません。

学校、会社などで、コロナ感染者が発生し、濃厚接触者に指定されていないが、消毒等の理由で自宅待機を行なった場合は、状況をチーム代表者へ報告の上、相模原市ドッジボール協会の指示に従ってください。（大会主催者が独自に判断し、指示に従って頂きます）

健康観察票は、個々人が大会当日持参しチーム代表者へ手渡し、チーム代表者が責任を持って管理(支部長からの廃棄の指示があるまで保存)してください。

チーム代表者は、相模原市ドッジボール協会からの健康観察票の提出指示があった場合、いつでも提出できる準備をしておいてください。

○試合当日自宅出発前

体調の確認を行い、通常と違う場合は参加を見送ってください。

・検温の実施

検温を実施し、通常の体温より高い場合は参加を見送ってください。

37.5℃以上ある場合は、大会会場への入場はできません。

・体調の確認

のどの痛み、咳、だるさなどの症状がある場合は、参加を見送ってください。

・健康観察票への記入と持参

当日朝の検温値、体調状態を記入し忘れずに健康観察票を持参してください。

○移動

・徒歩・自転車等

交通ルールを守り、事故に気を付けて移動してください。

移動時はマスクを着用し、大声を出さず、ソーシャルディスタンスを保つようにしてください。

・自動車

交通ルールを守り、事故に気を付けて移動してください。

会場周辺は**路上駐車禁止**です。

乗降は必ず指定の駐車場で行ってください。

なお、本大会は駐車票をかかげる必要はありませんが、駐車場は専用利用ではなく、他の施設利用者の方も駐車されますので、極力使用台数を絞って来場ください。

支部名、チーム名を記入した他大会や以前に使用した駐車票はかかげないでください。

トラブル等発生した際は、主催・主管者では関与致しませんので、各自で自己解決してください。

マスクを必ず着用してください。

乗車前後で手の消毒を実施してください。

移動時はエアコンを車内循環ではなく外気を取り入れ、窓を少し開けるなど車内換気に努めてください。

行き帰りの乗車者を固定するなど感染拡大のリスクを少なくする対策をお願いします。

○大会会場入場

会場への入場は、7時30分からですが、支部単位での時間指定入場になります。

・駐車場待機

入場時間まで、指定駐車場で車内待機してください。

待機中は、マスクを着用し、窓を開けるなど換気に注意してください。

・入場待機場所への移動

入場待機場所は、グラウンド入り口です。

支部長の指示に従い、ソーシャルディスタンスを保ち、チームごとに事前提出済みの名簿の参加者名簿 No.の順番通りに並んでください。

荷物の搬入も同時に行いますので、列に並ぶときに準備をお願いします。

・会場入場時

入場時に全員の検温、事前提出名簿での本人確認を行います。

名簿の番号順に検温、本人確認を行いますので、本人確認時には参加者名簿 No.と名前を入口確認担当者に申し出てください。

入場時の検温で、37.5℃以上ある場合は、会場への入場はできません。

名簿に登録がない方、チーム代表者へ健康観察票を提出しない方、記入漏れがある方は、大会会場へ入場できません。

・会場への入場後

会場入場後は、各チーム指定された待機場所へ移動し、テント設営などを行なってください。

設営後は、マスク着用の上、静かに待機してください。

・体温記入済み名簿の提出

各チームは当日の体温記入済みの名簿をチーム代表が初回入場時に本部へ提出してください。

また、各チームでも同様の名簿を管理してください。

・遅れて入場する場合

係員の指示に従い、検温・本人確認を行い、入場してください。

※チーム入場を優先しますので、入場に時間がかかる場合があります。

○大会会場

・会場外

会場(グラウンド)の外は、一般の公園です。

一般者への感染対策として、マスク着用・ソーシャルディスタンスを原則とします。

・会場の入出場

会場(グラウンド)への入場時は、必ず手の消毒を実施してください。

会場から外出するときは、マスク着用と必ず手の消毒を実施してください。

マスクを持参していない方は入場できません。

入出場はグラウンド入口のみです。

出場時には、**外出チケットを配布**します。

入場時には、外出チケットの提出をお願いします。

外出チケットを紛失した場合は、検温と本人確認を実施します。

・会場での過ごし方

会場(グラウンド)では、原則マスク着用とします。

ただし、指定コートでの練習中、試合時は、選手のみマスクをする必要はありません。

指定コート以外では、原則マスク着用とします。

大人は子どもへの感染防止のため、原則マスク着用とします。

※マスク着用は体調不良時を除く

体調不良者が発生した場合は、感染予防のため自宅への搬送などを検討してください。

この時体温を測り、37.5℃以上の場合、感染予防のため自宅へ搬送してください。

※自宅搬送を決めた場合は、搬送者を本部役員へ連絡してください。

会場ではソーシャルディスタンスを保ち、大声を出さないなど飛沫感染予防に努めてください。

特に他チームとの接触は極力避け、他チームへの感染拡大防止に努めてください。

他チームへの接触が必要な場合は、マスク着用とソーシャルディスタンスを保つようにしてください。

※特にマスク非着用時の子どもの動向に気を付けてください。

・トイレ・水道の利用

トイレ・水道は、一般の利用者が利用する共有設備です。

利用時はマスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保ってください。

また、会話を控えるなど飛沫感染にも考慮してください。

順番待ちなどで列を作る時は、順番を守り、ソーシャルディスタンスを徹底してください。

トイレ利用時は、備え付けの液体石鹸での手洗いとトイレで出入口設置の消毒液で手を消毒してください。

○感染予防について

基本的に**マスクは常時着用**です。

例外は、指定コートでの試合、練習時の選手のみです。(マスクを着用できない幼児を含む)

・会場入出場時に手の消毒の厳守

※会場入出場用の消毒液は大会運営側で準備します。

・トイレでの手洗い・消毒

トイレには、液体石鹸を設置してありますので、手洗いをしてください。

トイレの出入口に消毒液が設置してありますので、手の消毒をしてください。

・会場外でのマスク着用

※トイレ、水道は会場外で一般者も利用します。マスク着用と消毒を徹底してください。

・トイレ・水道など一般者共有設備の消毒の実施

毎時(00分)に一般者共有設備の消毒を本部運営主体で実施します。

協力要請があった場合は、作業の手伝いをお願いします。

・チームテントでの手の消毒を実施

チームテントへ戻ってきたタイミングで手の消毒を実施してください。

・チーム共有設備の消毒

各チームでチーム共有の設備(テーブルや椅子など)の消毒を毎時(00分)に実施してください。

・ジャグ・タオルなどの共有備品の利用禁止

タオル・水筒などは個人管理として不特定多数の人が触らないように注意してください。

水筒の補充などは、共有のジャグやペットボトルは利用せず、個人で予備のペットボトルなどを用意して利用するようにしてください。

その他の共有備品の利用もできる限り避け、なるべく個人で備品を用意し、利用できるようにしてください。

・個人備品の管理の徹底

タオル・水筒など個人備品は、不特定多数の人に触れないように利用後は必ず個人管理のカゴやカバンにしまうことを徹底してください。

特に未就学児・低学年がほかの子どもの水筒やタオルに触れないようにチームスタッフ、高学年が主体になり指導してください。

・**ゴミは自分で持ち帰る**

ゴミはチームで回収せず、自分で持ち帰るように指導してください。

チームでのゴミは、テーブルなどの消毒に利用したペーパータオルのみになるようにしてください。

飲みかけの飲料水はまかずに家に持ち帰ってください。まかれた飲料水が乾燥したときに噴霧として空气中にまかれ、感染の原因になる場合があります。

☆チームで用意する感染予防備品

- ・手の消毒液×2個以上(チームテント用、試合中・故障時予備)
- ・共有備品用消毒液・使い捨てタオル もしくは、除菌シート
家庭用備品を消毒できる消毒液と拭くためのペーパータオルやキッチンペーパー
もしくは、使い捨て出来る除菌シート(トイレや部屋などを掃除できる除菌シートなど)
- ・ゴミ袋
除菌後の使い捨てタオルなどを捨てるために利用
- ・予備の使い捨てマスク(大人用・子ども用)
- ・体温計(非接触が好ましい、接触型は毎回消毒すること)

必要に応じて使い捨てビニール手袋など消毒に必要な備品を準備して、こまめな消毒をお願いします。

☆個人で用意する感染予防備品

- ・マスク(予備を用意する)
- ・水筒
- ・水筒補充用のペットボトル
- ・タオル(予備を含め複数枚用意)
- ・試合会場へ水筒、タオルなどを運ぶためのカゴやバック
※出し入れしやすく、自立するものが好ましい
小さな買い物カゴやトートバッグのようなもの
- ・ゴミ袋
- ・コートで外したマスクをしまうための袋

○試合中の感染予防

・出場選手以外のマスク着用の徹底

実際に試合に出場する選手以外、マスクを着用してください。

応援・バックアップメンバーもマスク着用とします。

ただし、けがなどで途中退場した子ども、出場直後で息が荒い子どもは除きます。

・出場選手の手の消毒

各チームで消毒液を持参し、試合前後・セット間で手の消毒を実施してください。

試合中に選手交代などでコートから出た子どもは手の消毒とマスク着用が可能になった時点でのマスク着用をお願いします。

・選手の個人備品は個人管理

選手の水筒やタオルなど個人利用の備品は、カゴやバックなどにまとめ、各自が試合会場まで運び管理してください。

チームで集めるなど不特定多数の人の手に触れないように注意してください。

・応援・サポートスタッフの手の消毒

試合前に手の消毒を実施してください。

途中で子どものサポートなどを実施する場合は、前後で手の消毒を実施してください。

安全担当者は、こまめに手の消毒を実施し、子どもの安全確認後は必ず手の消毒を実施してください。

・アイシング

アイシングはラップやビニールなどにくるみ、利用毎に交換してください。

・試合中のボール消毒

消毒済みのボールを利用し、ボールが戻ってきた時点でボール出し担当が消毒を実施します。

※消毒担当を準備・任命しておく。

・たすきの管理と消毒

試合中に元外野は、たすきを投げてコートに入ります。

たすきの回収は、自チームにたすき回収担当者を割り当て回収してください。

回収したたすきは消毒してください。

・主副審判以外の審判は、マスク着用

ラインズマン・タイマー・ボール出しはマスク着用とし、利用後のフラグなど共用の備品を各自消毒してください。

・主副審判は飛沫感染予防に努める

主副審判は、笛を吹く関係上マスクは非着用。

ただし、飛沫感染防止のためフェイスガードを着用するか、口元を押さえて話すなど最低限の飛沫感染予防を実施してください。

○食事について

・食事中の感染予防の徹底

食事は感染リスクが高い行為です。

午前・午後にかけて参加する人以外は、食事を摂らず帰宅してください。

食事を摂る場合は、以下のことに注意してください。

- ① 手洗い、手の消毒の徹底
- ② 1メートル以上の間隔を空ける
- ③ 会話を行わない
- ④ 向き合わない

食事のメニューは短時間で終わるメニューを心がけてください。(おにぎり、パンなどを推奨)

昼食の注文配達は禁止です。

食事の終了後は、再度手の消毒を行い、マスクを着用し、食事をしている人から離れるようにしてください。

○大会後にコロナ感染・濃厚接触者が判明した場合

- ・大会後2週間以内に、参加者または、その同居家族や身近な知人などが新型コロナウイルス感染症の疑いのため、PCR検査を行った場合には、その結果含めて、(公財)相模原市スポーツ協会(電話042-751-5552)まで速やかにご報告ください。
- ・大会後2週間以内に感染が発覚した場合、各チームの代表者へ速やかに連絡をしてください。
- ・大会後1週間以内に濃厚接触者と判断された場合は、感染者との接触が大会前か後かを明確にしたうえで、各チーム代表者へ速やかに連絡をしてください。
連絡を受けたチーム代表者は、感染者との接触機会が大会前の場合、相模原市ドッジボール協会へ連絡をしてください。後の場合は、チーム内での感染対策を実施してください。
- ・感染・濃厚接触報告を受けた代表者は各チームで管理している名簿に対象者の漏れがないか確認し、相模原市ドッジボール協会へ連絡をしてください。
- ・相模原市ドッジボール協会では、感染・濃厚接触連絡受領後、提出された名簿をもとに保健所の指導のもと、濃厚接触者の特定と連絡を行います。
- ・相模原市ドッジボール協会からの感染者発生の連絡は、個人情報保護を考慮しながら保健所の指導、発生状況を考慮し、参加者への連絡を行います。

ドッジボール大会に参加する選手の注意事項

- ① マスクをしましょう。
※マスクを外していい場所は、コートのみです。
- ② 外したマスクは袋に入れ、汚れないようにしましょう。
- ③ トイレでは手洗い、手の消毒をしましょう。
- ④ テントに帰ってきたら、手の消毒をしましょう。
- ⑤ 試合前、応援エリアに入ったときは、手の消毒をしましょう。
- ⑥ 自分の荷物は自分で管理しましょう。
- ⑦ 自分の荷物はかごやカバンに入れ、自分で運びましょう。
- ⑧ ほかの人の荷物は触らないようにしましょう。
- ⑨ 会話は距離を保ち、大声で話さないようにしましょう。
- ⑩ ほかのチームの応援はできません。